

次期千葉県地球温暖化防止計画策定に係る基礎調査  
(事業所アンケート調査)結果

平成 27 年 3 月

## 1-1 調査概要

アンケートの調査概要は表 1-1 に示すとおりである。

表 1-1 アンケート調査概要

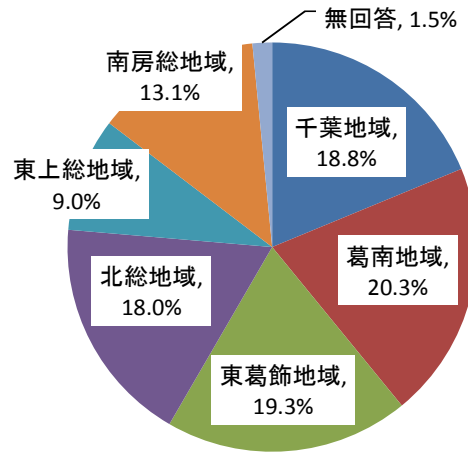
項目	事業所アンケート
対象	<p>(1) 対象業種等 地球温暖化対策への取組による効果を特に期待できる業種 (産業部門) a. 鉱業、採石業、砂利採取業 b. 建設業(総合工事業) c. 製造業 (運輸部門) a. 運輸業(道路貨物運送業) (民生部門) a. 卸売業 b. 小売業 c. 宿泊業・飲食サービス業(宿泊業、 宿泊業以外) d. 医療業(病院、その他) e. オフィス系(情報通信業、金融・ 保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、 生活関連サービス・娯楽業、教育・学習支援業)</p> <p>(2) 対象外とする業種 対策が特殊、調査対象数が少ない、CO<sub>2</sub>排出量が比較的少ない等の業種 a. 農林業・水産業 b. 建設業(総合工事業以外) c. 電気・熱供給業・水道 業 d. 運輸・郵便業(道路旅客運送業、鉄道業、水運業、航空運輸業、倉庫 業、郵便業)</p> <p>(3) 対象事業所の範囲 ①従業員が10人未満の小規模事業所については、その対策が家庭と同じと なること、及び調査の事務負担を考慮し、対象外とした。 ②別途ヒアリングを行う事業場(大規模事業場、数件程度)は除外した。</p> <p>(4) 調査数 調査数を2,000事業所とし、各部門において、経済センサスの最新データ で(1)の業種ごとの県内事業所数を調べ、原則として按分して業種ごと の調査数を決定した。(層化二段抽出)</p>
配布数	2,000
実施期間	平成27年2月20日 ～ 平成27年2月27日
配布方法	郵送
回収方法	郵送
回収数	390
回収率	19.5%

## 1-2 事業所アンケート調査結果

### 1) 回答事業所の基本情報（問1(1)～(4)）

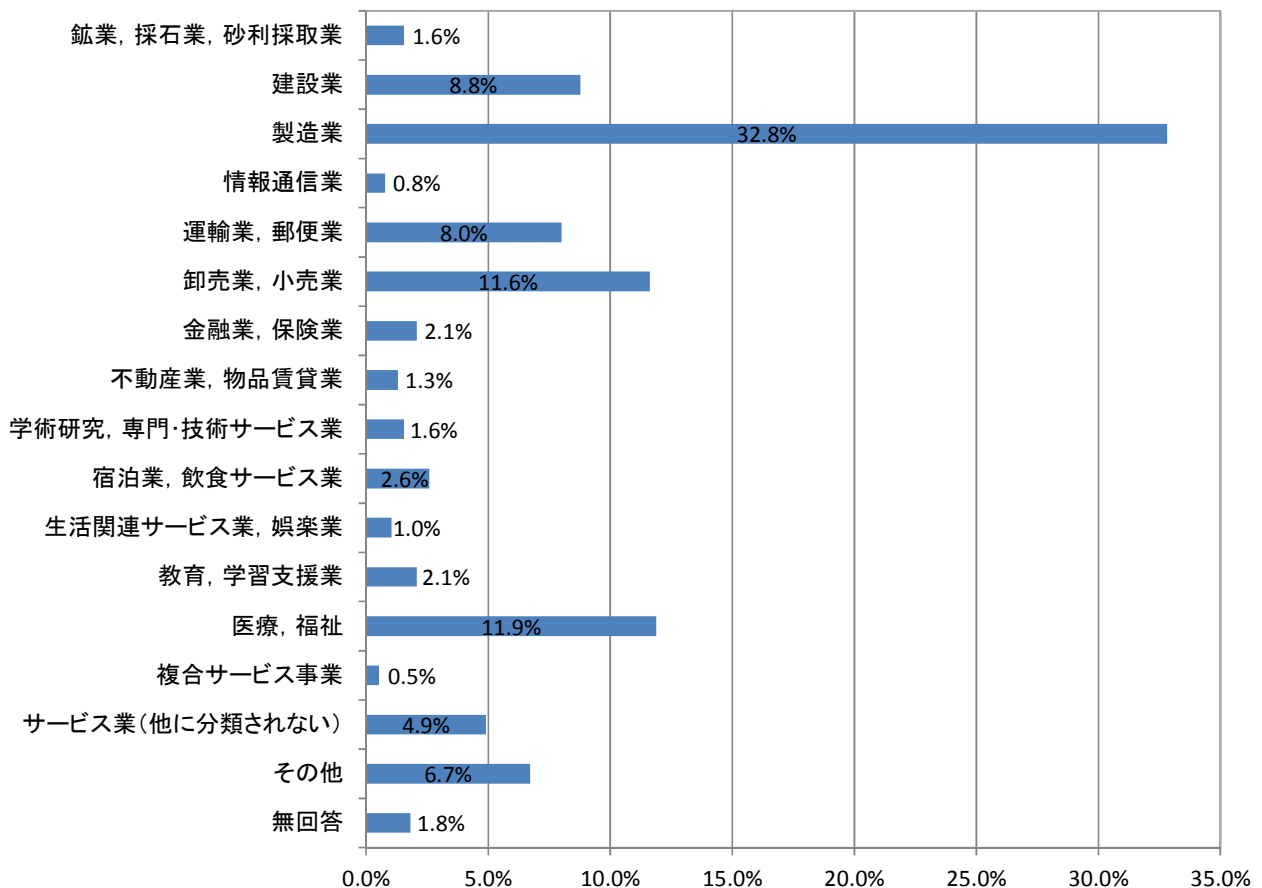
#### (1) 事業所の所在地

回答事業所の所在地で最も回答が多かったのは、葛南地域で20.3%、次いで東葛飾地域で19.3%であった。



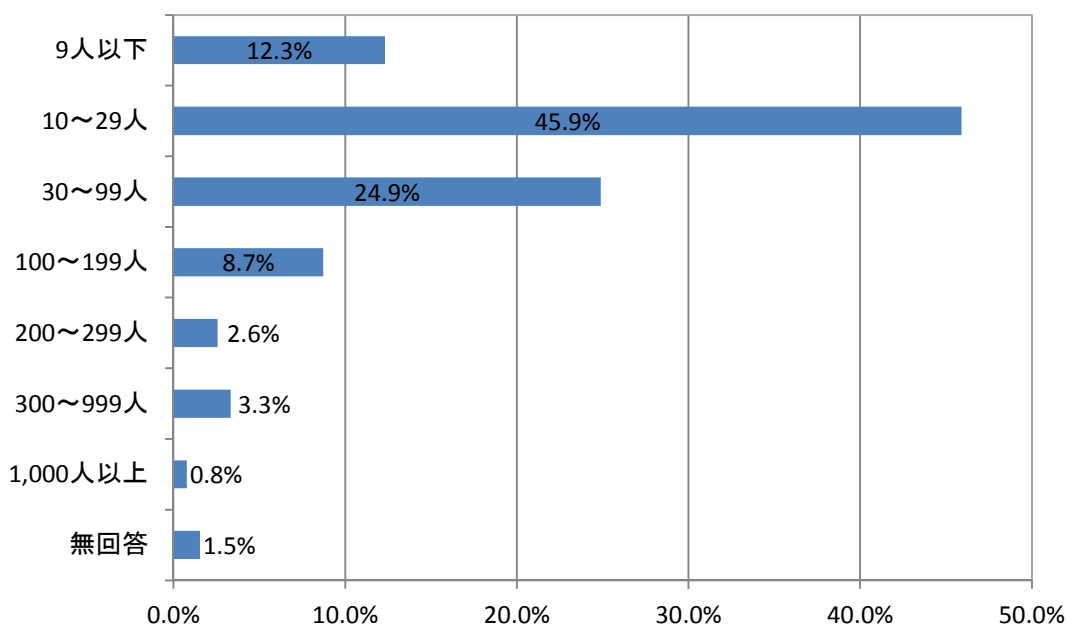
#### (2) 業種

回答事業所の業種で最も回答が多かったのは、「製造業」で32.8%、次いで「医療、福祉」で11.9%であった。



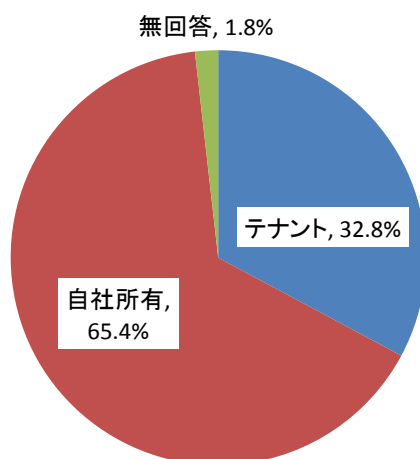
### (3) 従業員数

回答事業所で従事する従業員数で最も回答が多かったのは、「10～29人」で45.9%、次いで「30～99人」で24.9%であった。



### (4) 事業所建屋形態

回答事業所の事業所建屋形態は「自社所有」が65.4%と半数以上を占めた。



## 2) 事業所におけるエネルギー使用量の状況 (問 2 (1)・(2))

### (1) 年間出荷額・生産量等

回答事業所の一年間の出荷額・生産量等の業種別総合計値は以下に示すとおりとなった。

業種	項目	平成 25 年度 (2013 年度) 出荷額等総合計値	単位
製造業	製品出荷額等	152,209,074.7	百万円
鉱業	生産量等	30,644,871.0	t
建設業 (①が算出できない場合は②)	①建築面積	193.0	m <sup>2</sup>
	②売上高等	162,076.0	百万円
それ以外の業種	延べ床面積 (事業所全体)	2,182,073.8	m <sup>2</sup>

### (2) 年間消費電力・燃料使用量等

一年間の消費電力量・燃料使用量等の業種別総合計値は以下に示すとおりである。

また、それ以外のその他燃料を使用している事業所が 4 事業所あり、その燃料種は以下に示すとおりである。

業種	購入電力(東電)	購入電力(それ以外)	都市ガス	液化石油ガス(LPG等)	ガソリン	軽油(輸送事業自動車用)	灯油	軽油(自動車用除く)	重油
	kWh	kWh	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	kl	kl	kl	kl	kl
鉱業、採石業、砂利採取業	57,298,246.6	0.0	58,000.0	87.6	2,820,676.0	3,886.6	0.0	545.0	10.0
建設業	708,566.2	2,000.0	32.0	1,038.7	106,296.7	7,189.1	7,549.2	140.5	0.0
製造業	246,944,637.9	428,860,046.0	51,345,259.9	762,376,402.9	45,638.3	6,321.6	264,026.7	8,404.7	603,400.3
運輸業、郵便業	5,528,741.7	163,513.0	37.0	8,547.8	9,545.6	1,867,177.0	38,004.7	90,117.0	0.0
民生業務(その他)	60,566,997.0	11,627,497.8	1,665,429.9	162,705.3	170,196.6	15,302.7	25,487.6	4,226.5	5,455.4

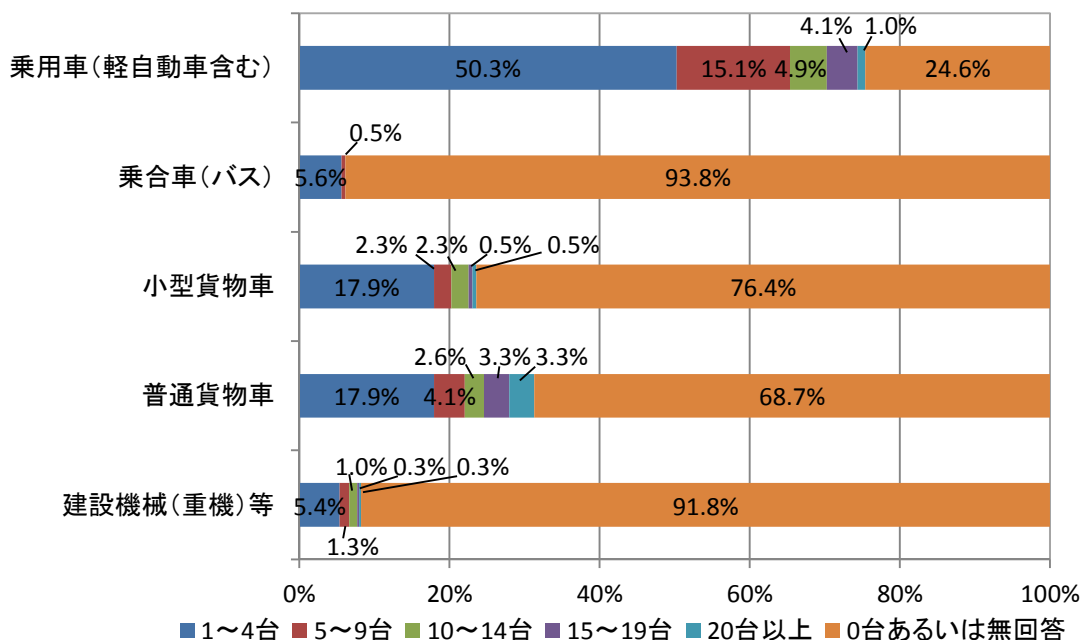
その他	項目
使用量	C ガス、産業用蒸気、天然ガス

### 3) 運輸部門（問3・問4）

#### (1) 車両の保有状況（問3）

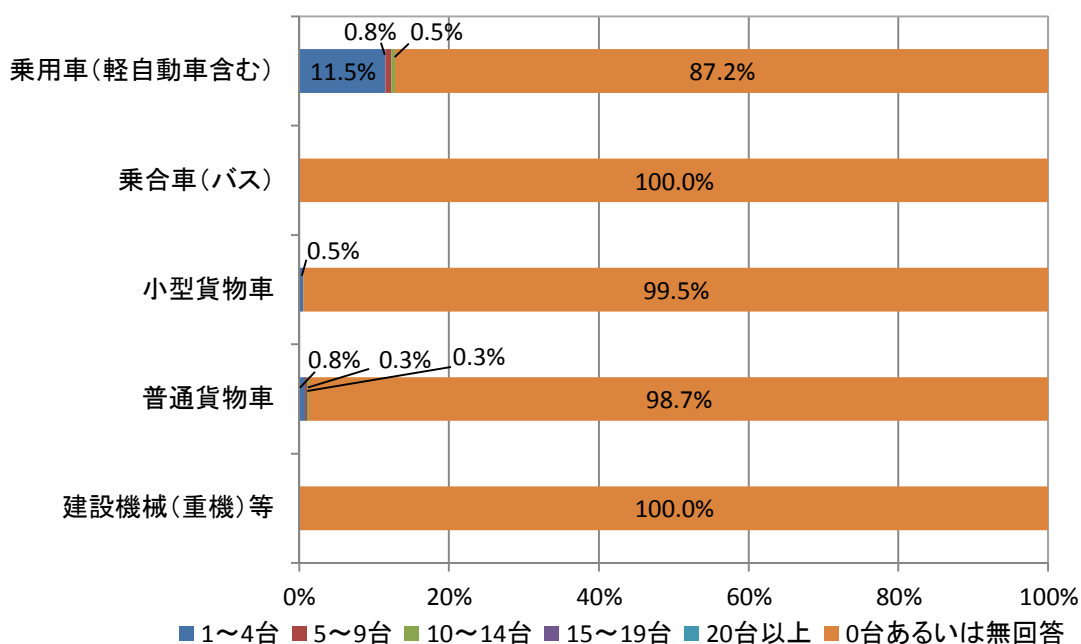
##### ① 保有台数

回答事業所の保有する自動車等の回答が最も多かったのは、どの車種も「1～4台」が最も多く5.4%～50.3%であった。



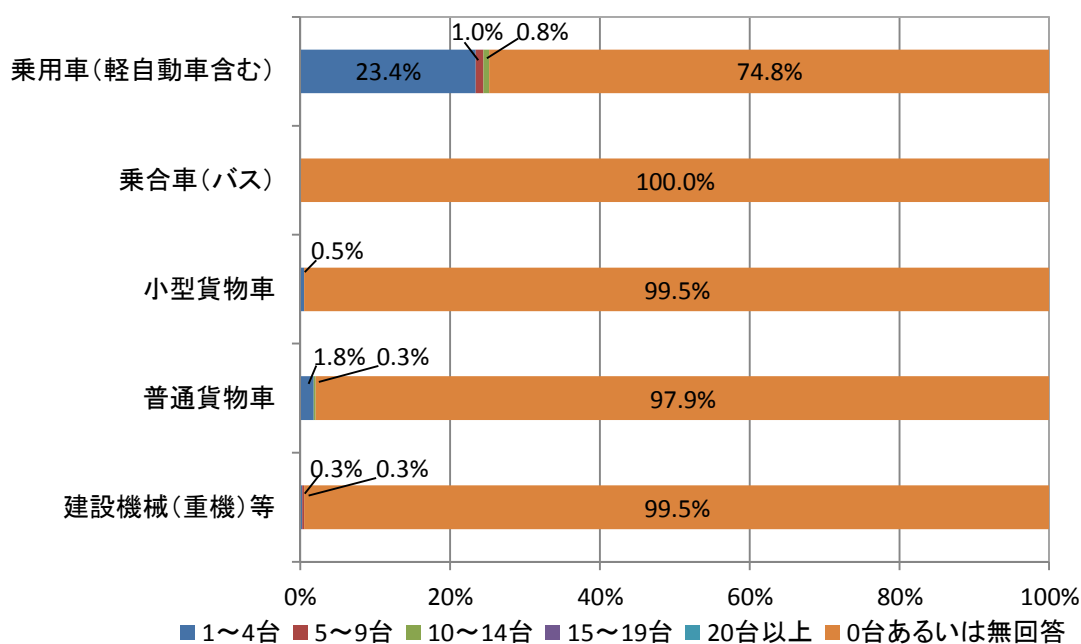
##### ② 保有台数の内アイドリングストップ装置導入台数

保有車両の内アイドリングストップ装置導入しているのは、「乗用車」と「普通貨物車」で10%前後、「小型貨物車」で0.5%であった。



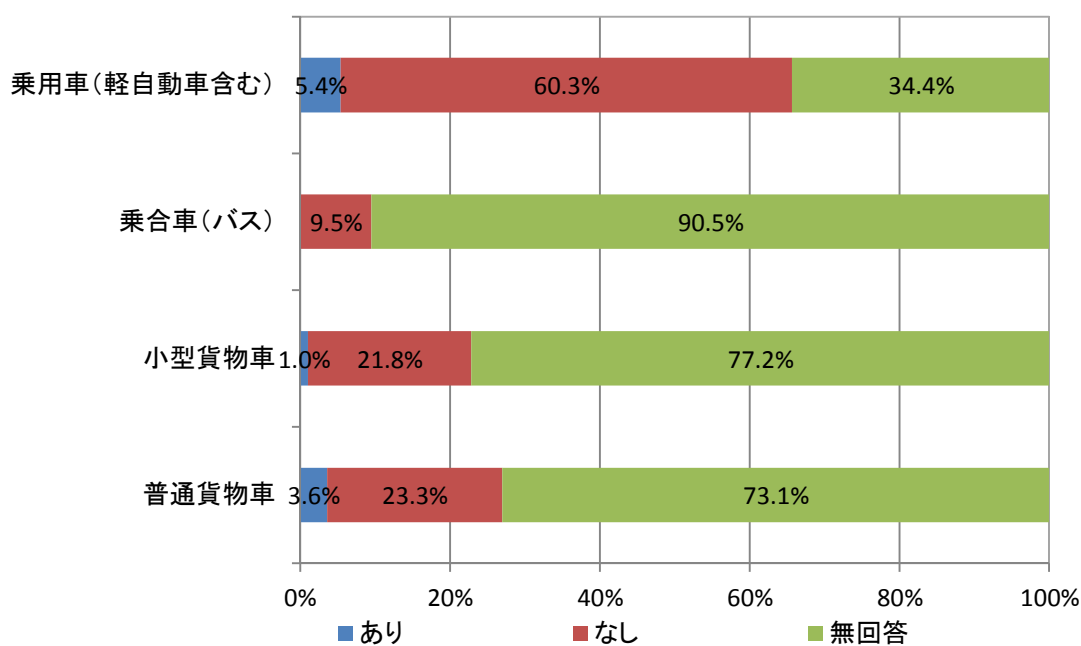
### ③ 保有台数の内クリーンエネルギー自動車の台数

保有車両の内クリーンエネルギー自動車の導入台数は、「乗用車」で 25%前後導入があるが「0台あるいは無回答」が大多数を占めた。



### ④ エコドライブ管理システムの導入有無

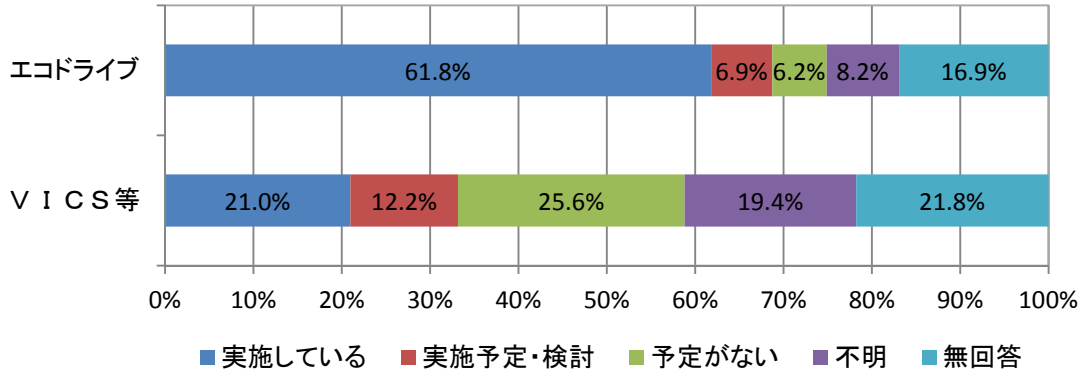
エコドライブ管理システムの導入状況では、「乗用車」が 5.4%、「普通貨物車」が 3.6%と 10%未満であった。



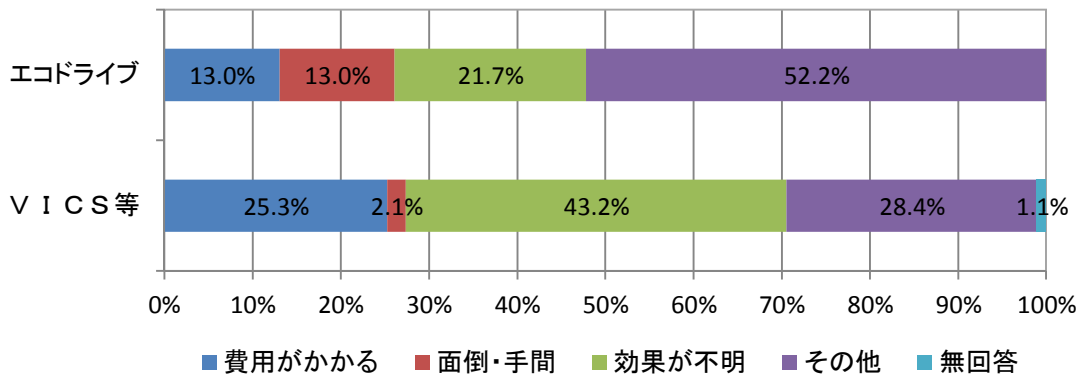
## (2) エコドライブ等に関する取組状況（問4）

### ① 全事業

回答事業所のエコドライブ等に関する取組状況は、「エコドライブ」は61.8%が「実施」しており、「VICS等の利用」は21.0%が「実施」していると回答した。



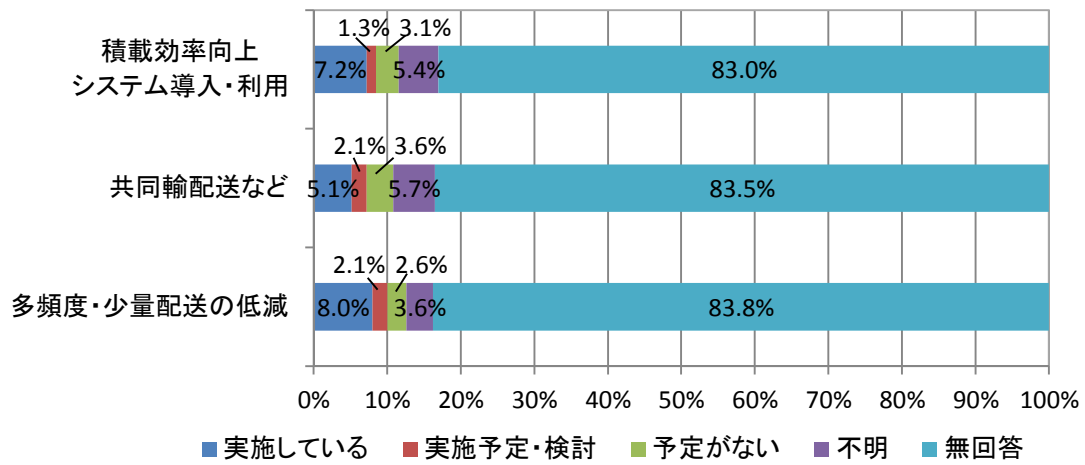
取組状況の「実施する予定がない」と回答した事業所の理由として最も回答が多かったのは、いずれも「効果が不明」であったことから、まだまだ周知度が低いことが分かる。



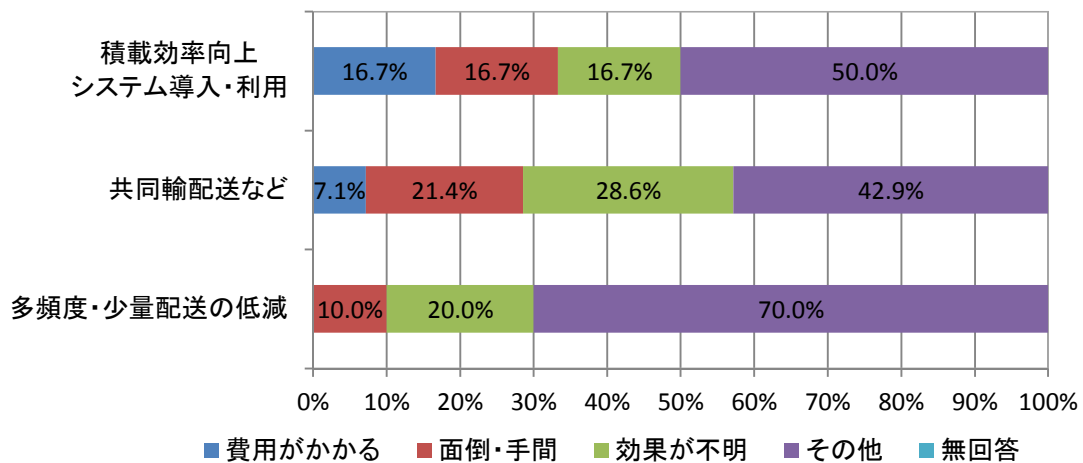


## ② 運輸業

運輸業における運輸に関する省エネ取組状況は、いずれも「実施」していると回答したのは10%未満に留まった。

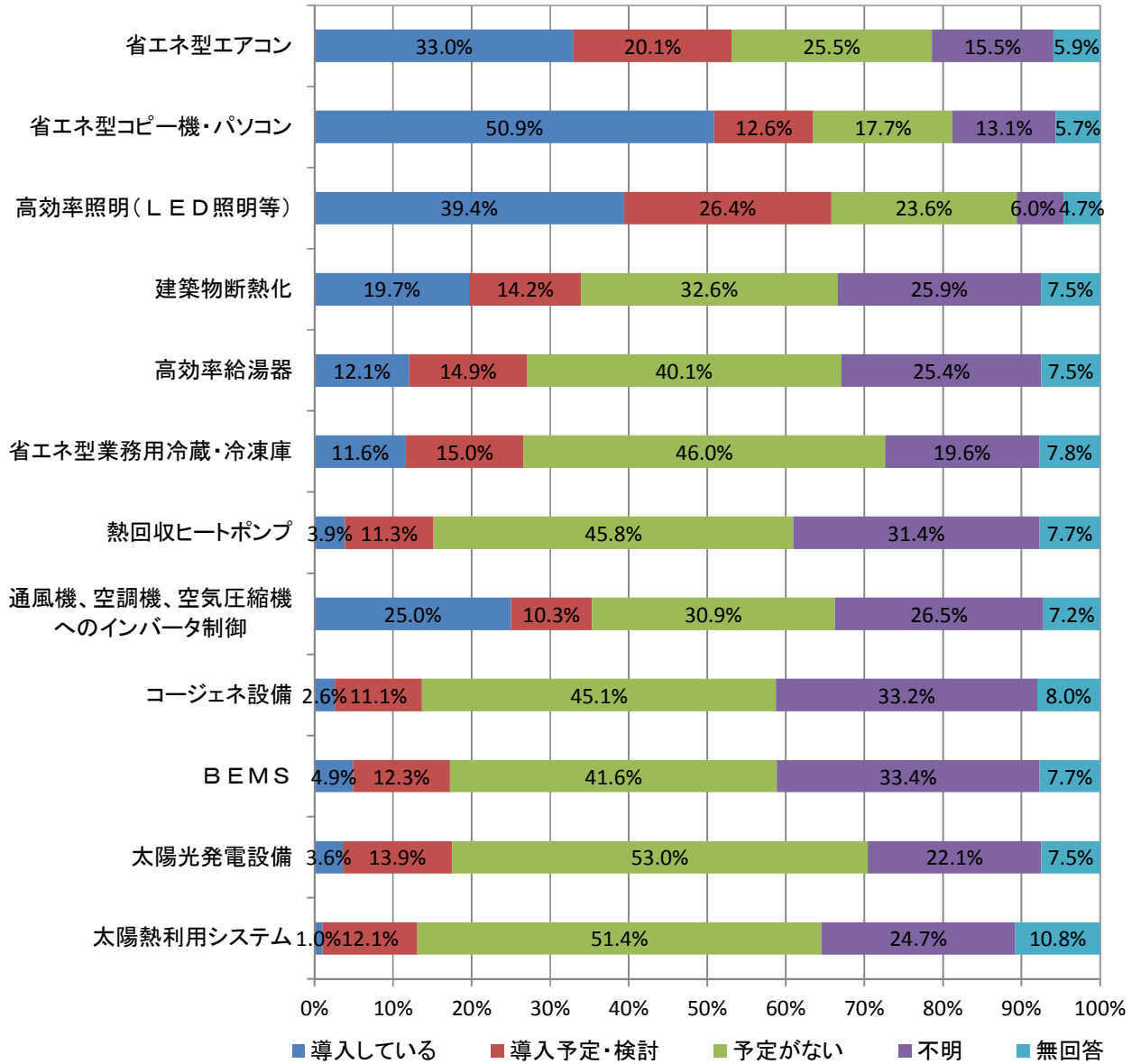


運輸に関する省エネ取組状況の内「実施する予定がない」と回答した事業所の理由として最も回答が多かったのは、いずれも「効果が不明」が多かった。

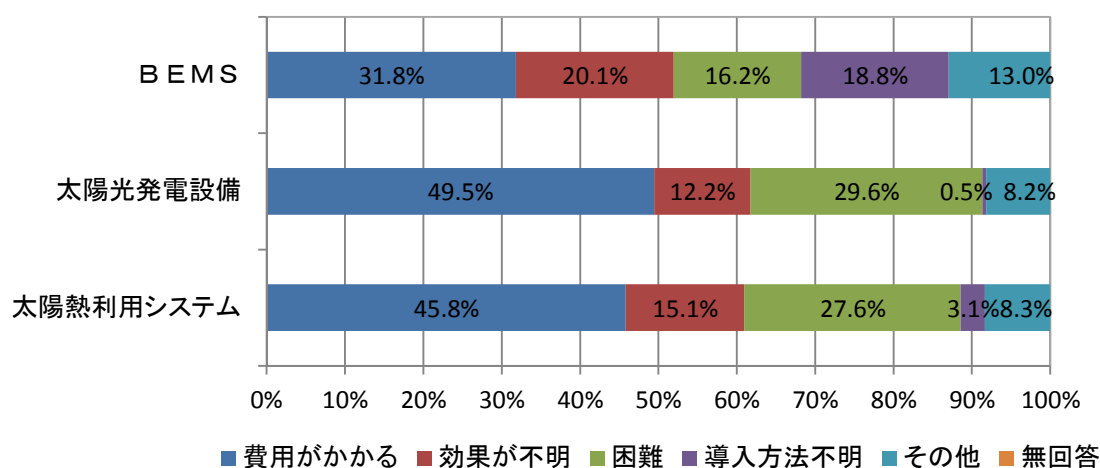
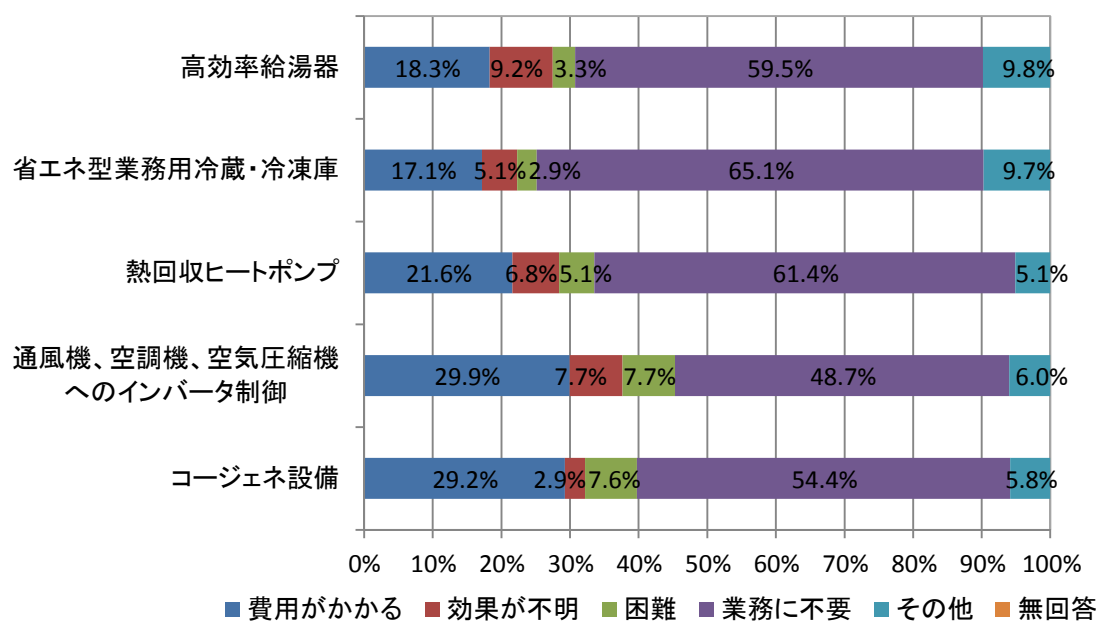
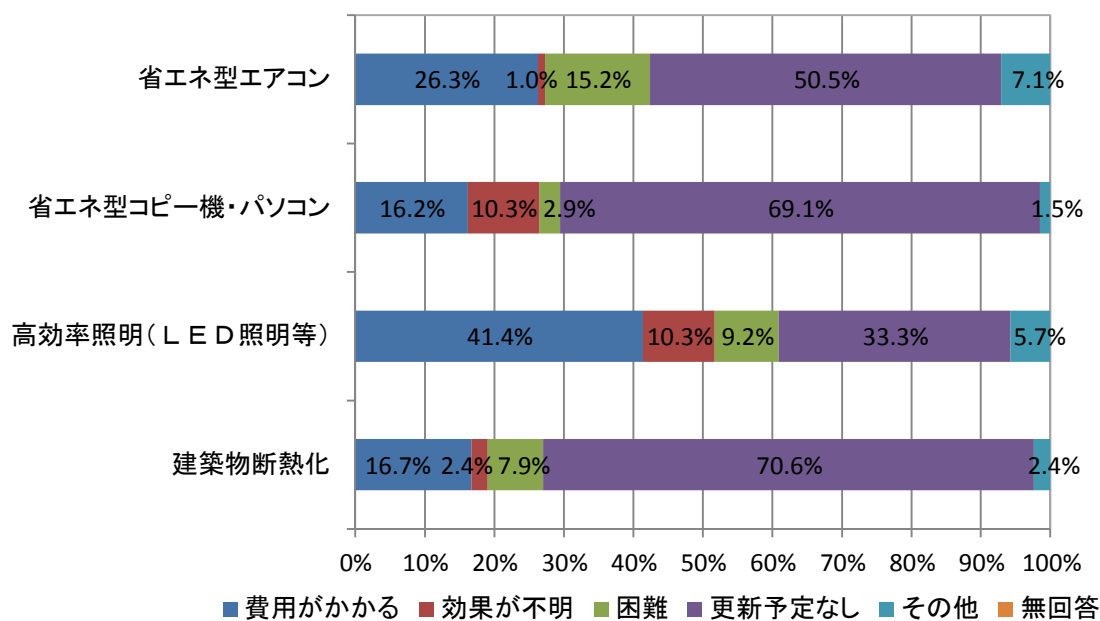


### (3) 省エネ設備や機器の導入状況（問 5）

回答事業所の省エネ設備や機器の導入状況は、「エアコン」「コピー機、パソコン」「照明等」は「導入」「導入予定」を含めると半数以上を占めた。それ以外の設備や機器は 30%程度に留まった。



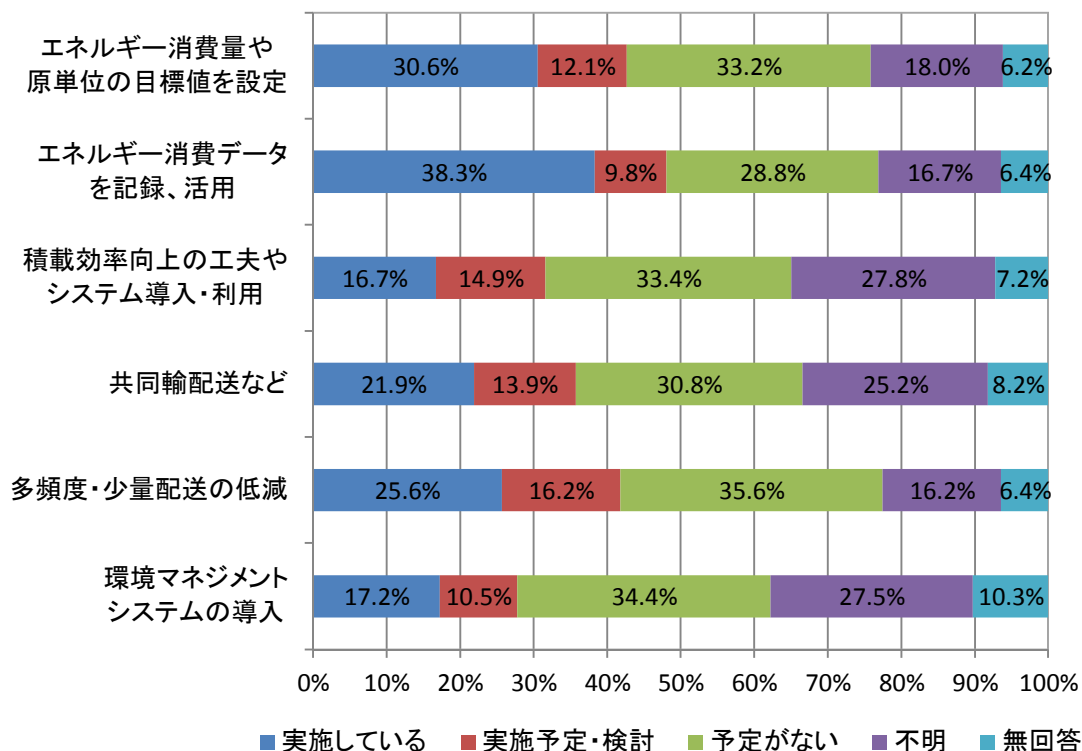
回答事業所の内「導入予定がない」と回答した事業所の理由として「更新予定がない」「業務に不要」「費用がかかる」が多く挙げられた。



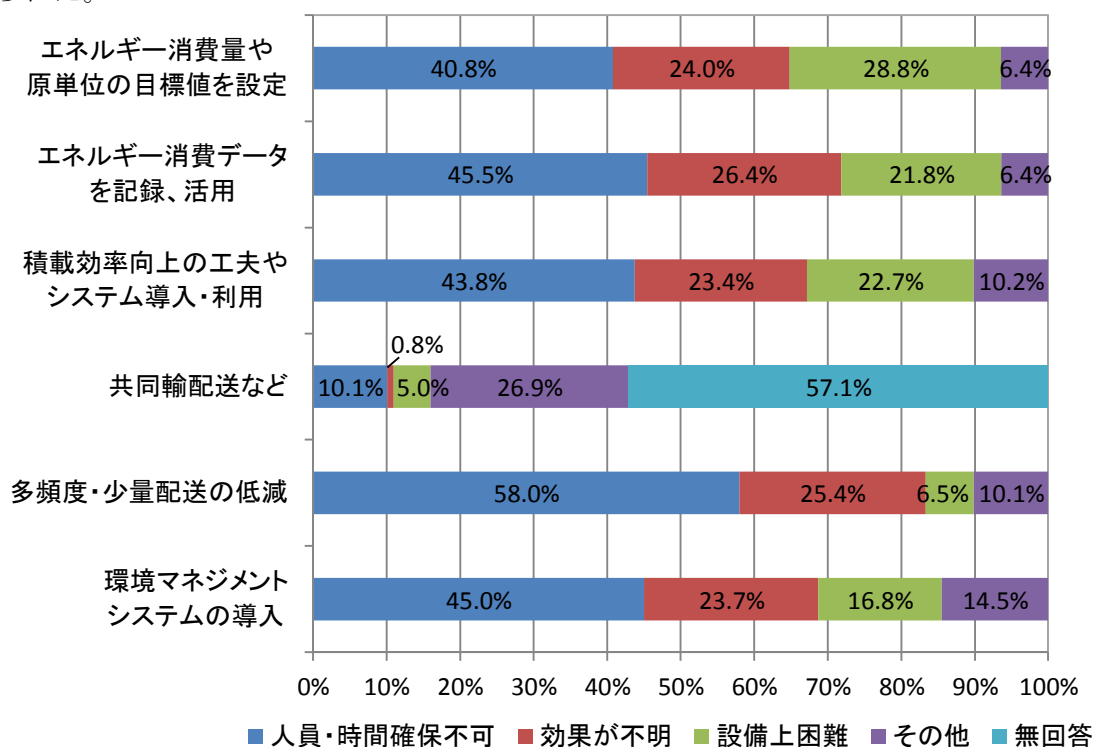
#### 4) 省エネ行動に関する取組状況（問6）

##### ① マネジメント

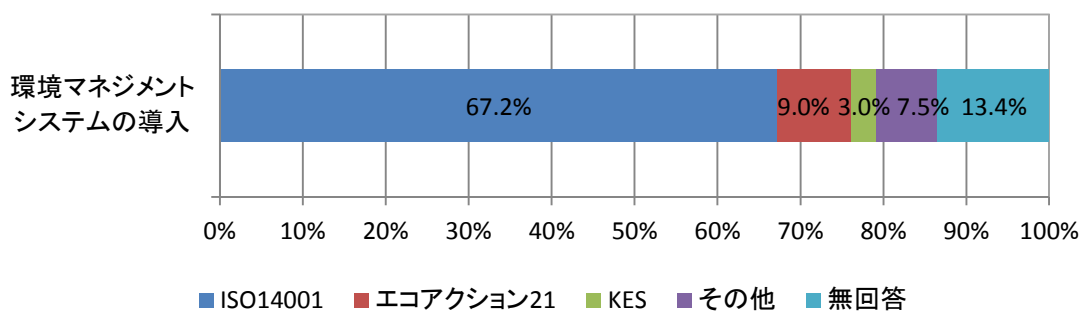
回答事業所のマネジメントに関する省エネ行動の取組状況は、「実施」していると回答したのは16.7%～38.3%であった。



「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「人員・時間確保が難しい」が多く挙げられた。

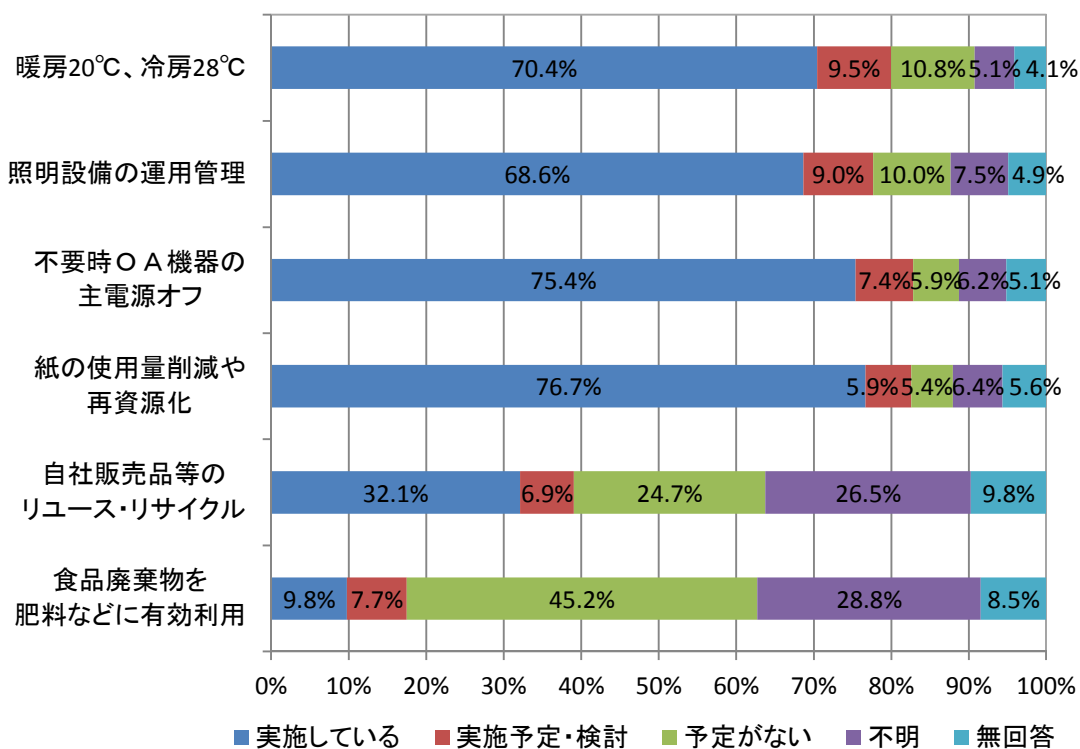


「環境マネジメントシステムの導入」を実施している事業所のシステムの種類として最も回答が多かったのは、「ISO14001」で67.2%であった。

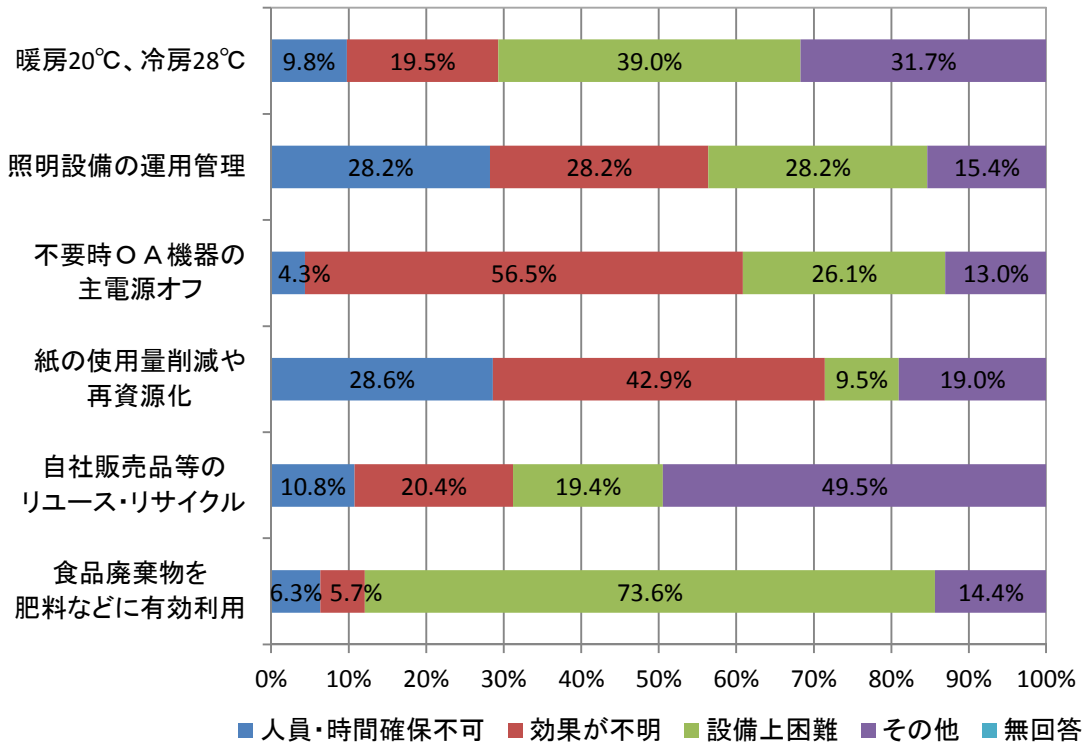


## ② 運用

運用に関する省エネ行動の取組状況は、「暖房 20℃、冷房 28℃」「照明設備の運用管理」「不要時主電源オフ」「紙の再資源化」が 68.6%～76.7%と半数以上が「実施している」と回答した。

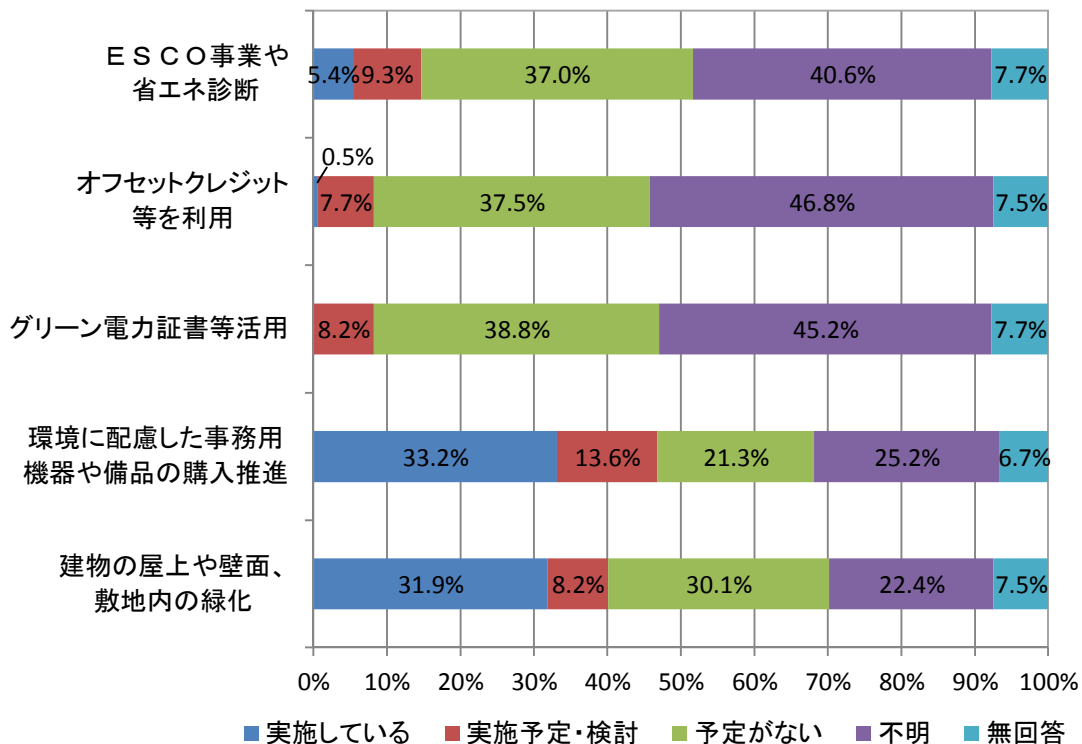


「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「効果が不明」「設備上困難」が多く挙げられた。

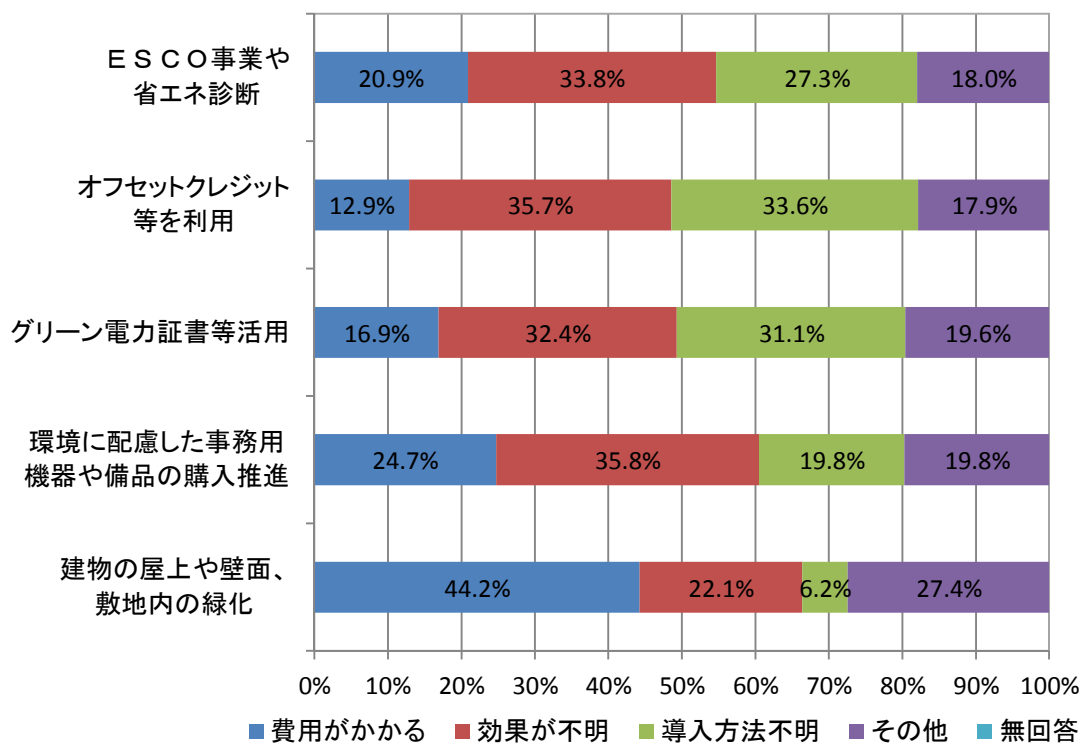


### ③ その他

その他省エネ行動の取組状況は、「環境に配慮した製品の購入推進」「屋上や壁面等の緑化」を33.2%～31.9%の事業所が「実施している」と回答した。



「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「費用がかかる」「効果が不明」が多く挙げられた。



## 5) 各事業所独自の取組事例や取組状況（問7）自由記述

【問6】で尋ねた項目以外で取り組んでいる地球温暖化対策取組事例や、取組状況に関する回答があったのは27事業所であった。

「当社事業のひとつとしてポンプの省エネコーティングを取り入れております。」「異業種とのコラボレーションを行い、環境対策製品開発をしている」等、自社内外で省エネ製品の開発を行っているという回答や、「週1回残業ゼロを実施」「データをグラフ化し、毎月社内で回覧」等、従業員の省エネ意識向上を目指した取組みを行っているという回答が挙げられた。

取組事例や今後の取り組み方針など
節電、従業員啓蒙、省エネ機器導入
園庭の芝生化エアコンの冷媒交換ノンフロン
チェーン店のため本社方針による
費用や時間、手間がかかるものばかりで自転車操業の小規模企業では助成などのメリットがないとやり切れない
休憩時間以外は常に消灯している
自然エネルギーをもっと活用したい風力
平成26年市主催緑のカーテンコンテスト最優秀賞
当社事業のひとつとしてポンプの省エネコーティングを取り入れております。ポンプ効率経年により接液面が腐食などで表面粗度が低下してエネルギーLOSSが生じ、効率が低下します。粗れた表面をコーティングし、効率の回復を実施します。
週1回残業ゼロを実施
エネルギー原単位管理しており前年度実績に対し1%以上向上目指している
ヒートポンプ自販機の導入
太陽光発電利用、廃棄物削減
今後車両を全てハイブリットに入れ替える、IPADを利用しペーパーレスにする
敷地内に緑を多くしていく動きをしている。電気のこまめな入切を行い不要な電気を使用しない。
ごみの分別
夜間電力利用で夜間生産実施、屋上緑化推進
ペットボトルのリサイクル工場なので地球温暖化対策に貢献している
エコドライブ管理システムの完全装備
異業種とのコラボレーションを行い、環境対策製品開発をしている
電気自動車の拡販
水循環ポンプのインバーター化実施済
節電対策はエコファーストの約束等で職員、利用者に啓蒙の協力依頼を徹底している
水道光熱費や燃料費等のデータをグラフ化し、毎月社内で回覧し経費削減、省エネの意識の向上を図っている
・消費電力量をオフィス中心に低減を図るべく新社屋にしたこと(昨年末)全LED化、新エアコン、断熱構造 ・今後ISO14001取得計画有
照明等のこまめな節電、エアコン温度管理の徹底
敷地内外の清掃作業及び草刈作業を従業員で細めにおこなっており、ゴミがない状態を保つ様、管理している。
冷媒ガスのノンフロン化



## 6) 県への提案や意見（問 8）自由記述

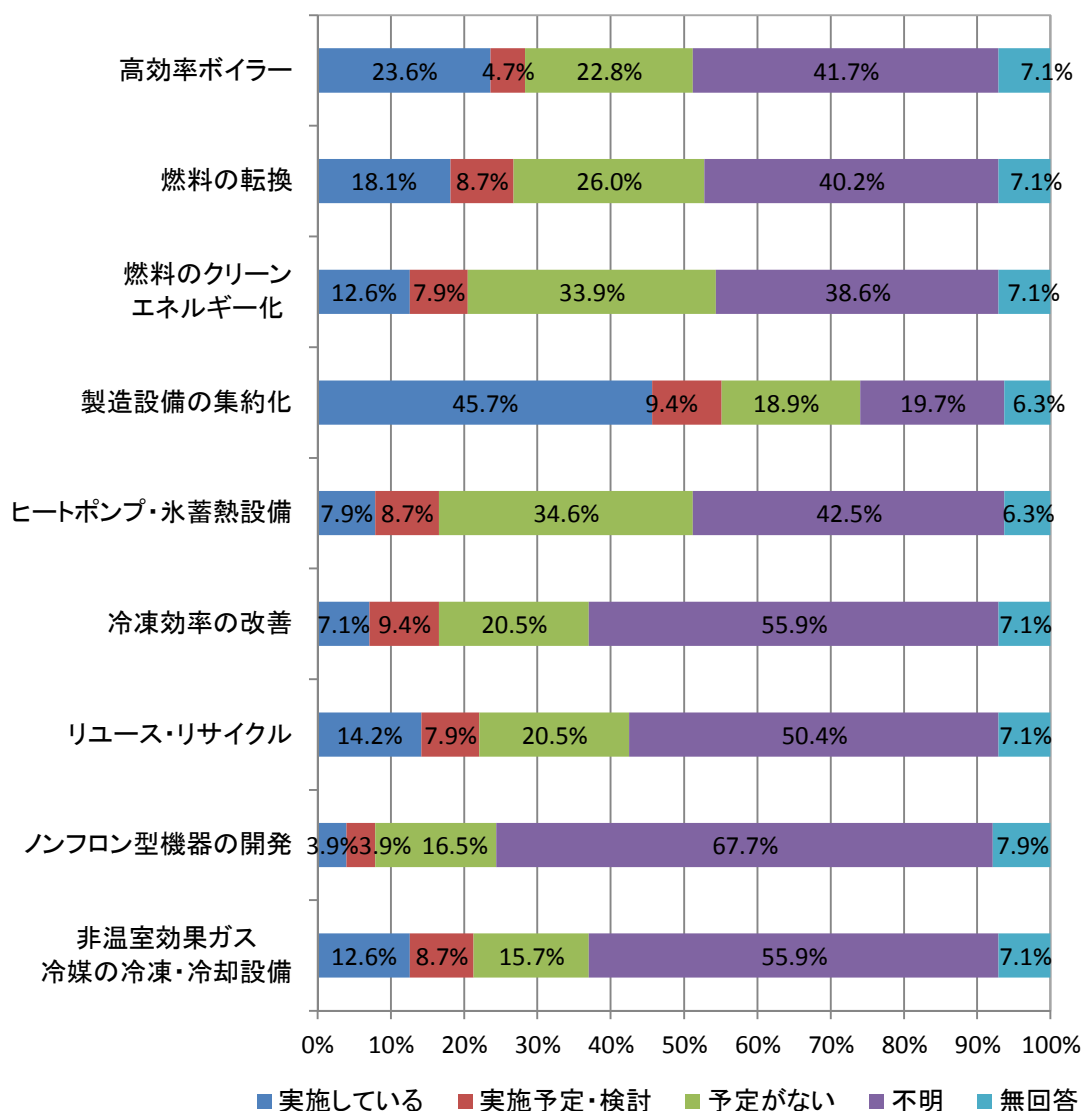
地球温暖化対策に関して県への提案やご意見の回答があったのは 16 事業所であった。

「自然エネルギー導入には補助金不足」「医療・福祉部門において、一般や製造とは同じレベルでの対策は難しい」導入や実施に対するためらいを感じる意見や、「効果の大きい企業や自治体から行うべきで、具体的にこのようなことを行い、これだけの効果があったことを数字で見せてほしい。またこのようにすればよいとの事例があると分かり易い」「温暖化は別の要因である。CO<sub>2</sub>はごく微量のこと」等、知識の周知に関する意見、「再生エネ推進には積極的に見えません。今後千葉県独自の対策を実行して欲しいと考えます。」といった県に対する意見が挙げられた。

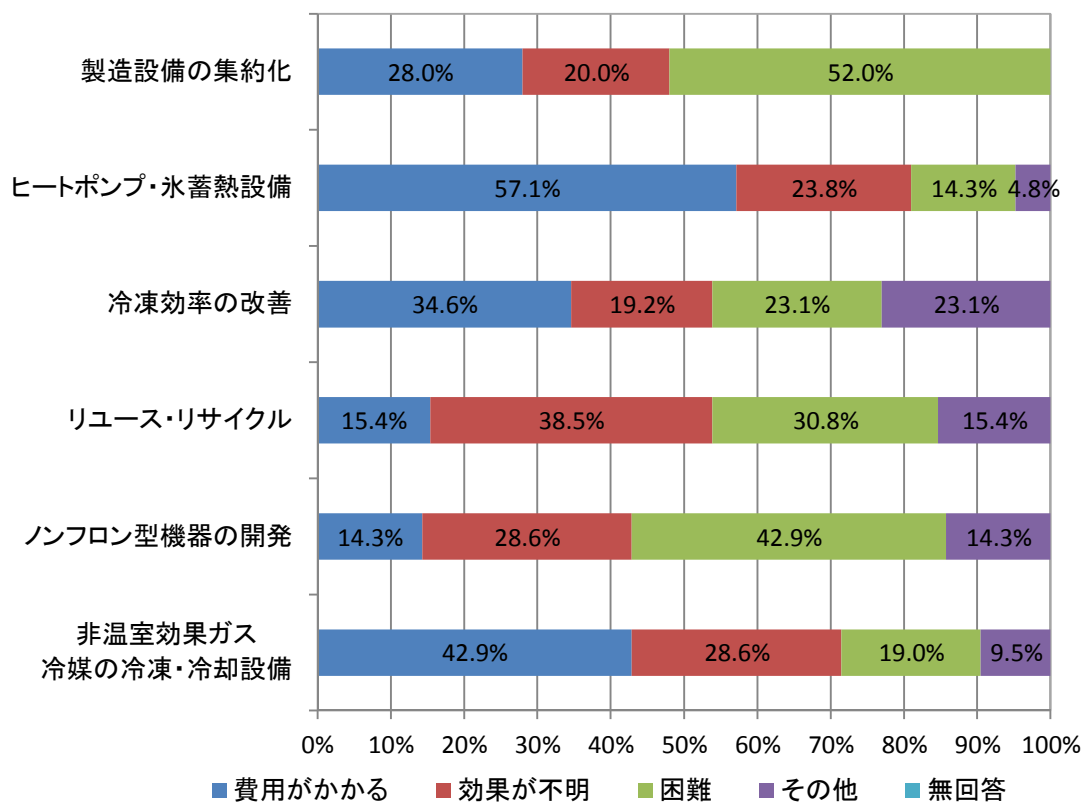
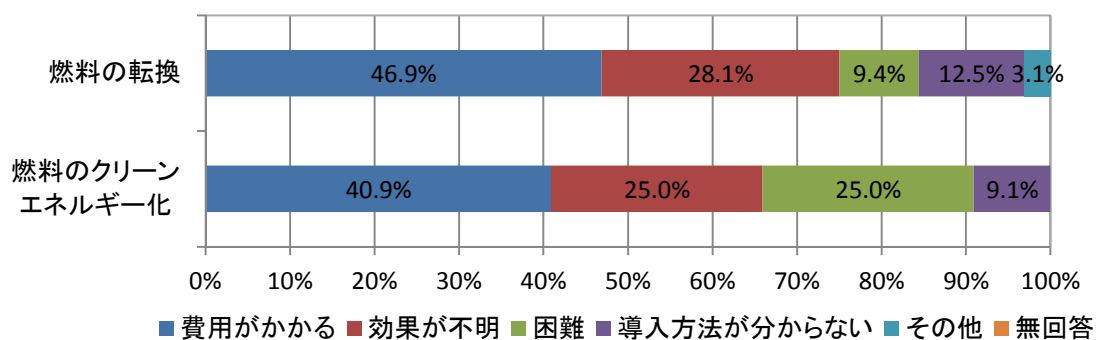
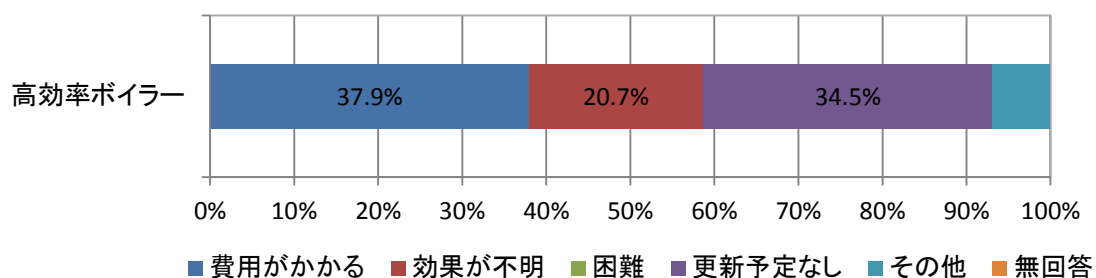
無料で電気料削減の為の計測器の貸与する
太陽光発電など自然エネルギー導入には補助金不足
トラックバスのハイブリット化 100%か燃料電池化
努力目標の設定ではなく条例による強制力のあるものが施行されないと実際の活動がやりにくい。ある程度強制的な対策が良い
県の取り組みに対し地球温暖化にどれだけの効果があるか数値で表してほしい
効果の大きい企業や自治体から行うべきで、具体的にこのようなことを行い、これだけの効果があったことを数字で見せてほしい。またこのようにすればよいとの事例があると分かり易い
東日本大震災では千葉県も多大な被害と尊い人命を失った割には再生エネ推進には積極的に見えません。今後、千葉県が再生エネ大国(大県)となりうるため、千葉県独自の対策を実行して欲しいと考えます。
24 時間 365 日すべてを休めることができない医療・福祉部門において、一般や製造とは同じレベルでの対策は難しいと考えますが、出来る範囲で楽しみながら無理なく取り組める内容であれば(ご提案頂ければ)積極的に取り組みたいと思います。
ポンプの省エネコーティングで効率の回復とポンプの寿命延命が図られますので上下水道設備などに検討くださればと思います。
大規模工場の取り組みが今後必要となる
二酸化炭素排出権投資に関するうそくさい営業電話が多いので監督してほしい
クリーンエネルギーを簡易に扱えるようにしたい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の燃費低減に向けてゴーストストップの削減を目指し、利用頻度の低い信号機の感応式化を推進し、燃費向上、排出ガスの低減を図っていきたい。</li> <li>・県道交差点部分の拡幅により渋滞発生の低減を図っていただきたい</li> </ul>
温暖化は別の要因である。CO <sub>2</sub> はごく微量のこと
敷地前にある河川(小さめ)の草刈り作業を県が手配した業者さんが、夏前に(毎年)行っているのですが、道路側のみなので、ゴミや雑草が生い茂り、(ゴミがゴミを呼び、環境汚染につながっている現状)環境に悪い。問い合わせしたところ、道路側は土木部道路維持課が管理し、反対側は河川課?なので、出来ないとの回答。縦割りでなく、一貫した管理及び清掃作業をお願いしたいです。
企業のみ資金力ではとても 2020 年フロン全廃に対応できません。国と自治体がサポートしたり、資金調達時の金利優遇などでも検討下さい。

## 7) 製造業における省エネ導入・実施状況（別紙）

製造業における省エネ機器、設備等の導入状況では、「製造設備の集約化」で「実施している」45.7%の回答があった。それ以外では「不明・該当なし」が半数近くを占めた。



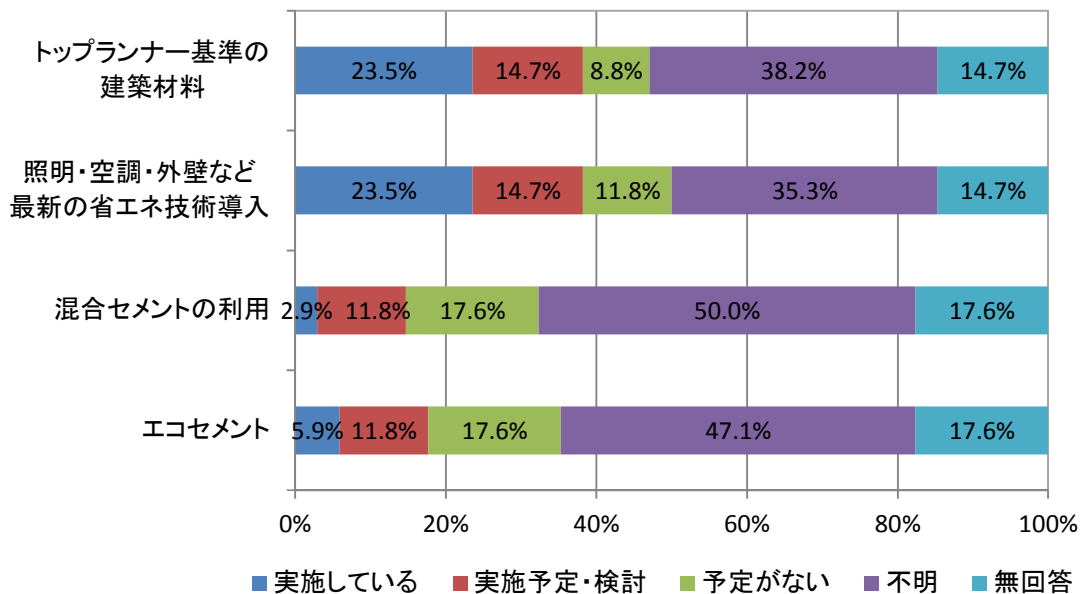
「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「費用がかかる」が多く挙げられた。



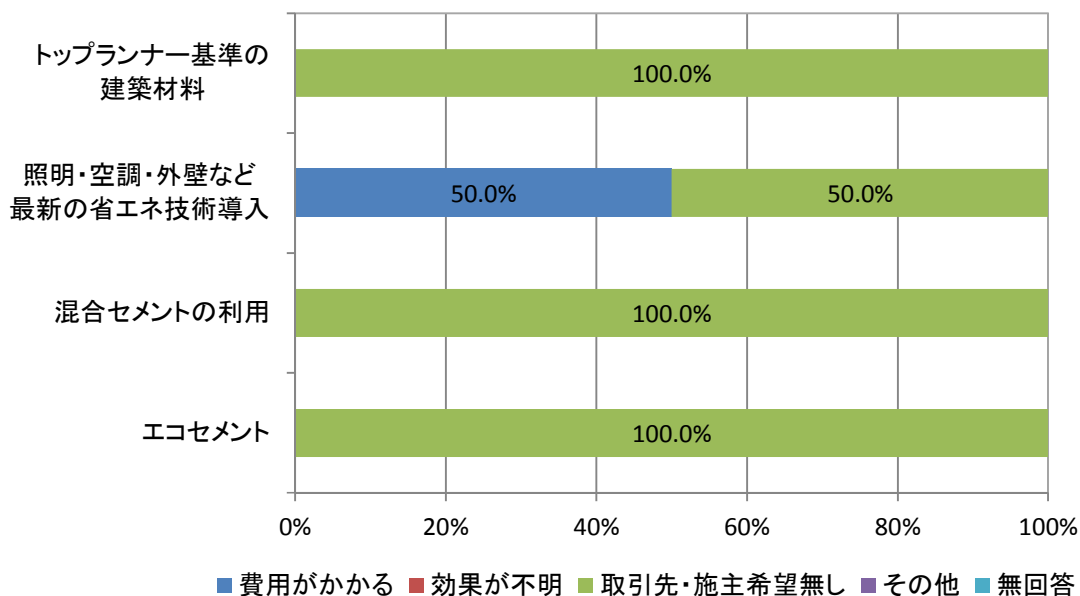
## 8) 建設業、鉱業・採石・砂利採取業における省エネ導入・実施状況（別紙）

### ① 建設業

建築業に関する省エネ導入状況では、「不明・該当なし」が 35.3%～50.0%が多く挙げられた。

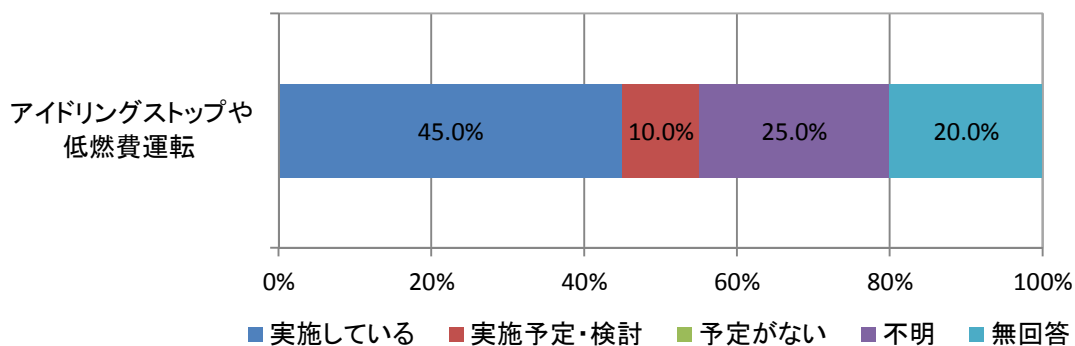
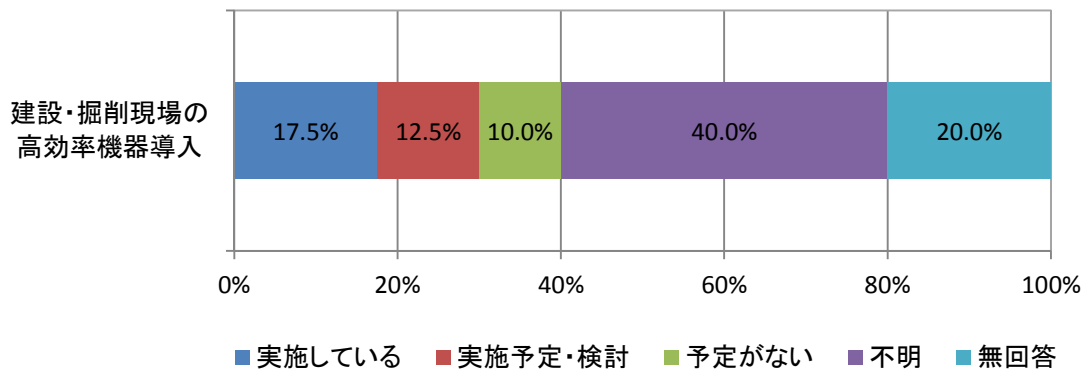


「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「取引先・施主の希望がない」が大多数を占めた。

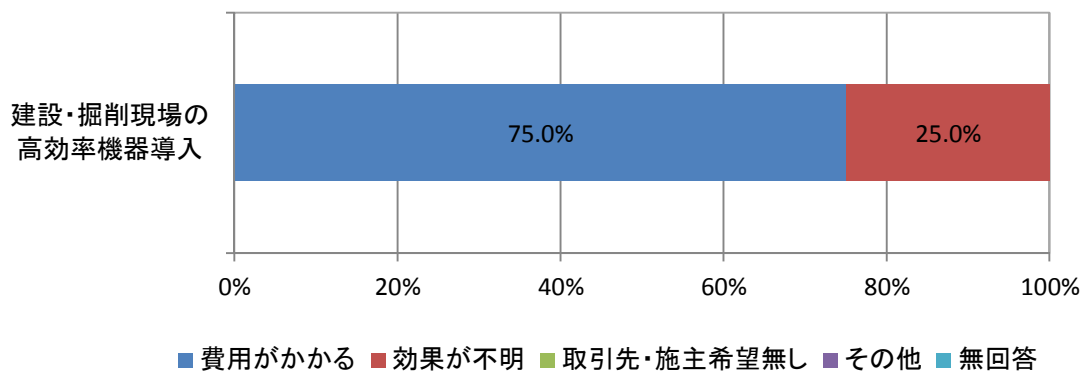


## ② 全業種

建設業、鉱業・採石・砂利採取業の省エネ導入状況に関しては、「高効率機器導入」は「不明・該当なし」が最も多く 40.0%、「アイドルングストップや低燃費運転」は「実施している」が最も多く 45.0%であった。



「実施予定がない」と回答した事業所の理由として、「費用がかかる」が最も多く 75.0%であった。また、「アイドルングストップや低燃費運転」の「実施予定がない」は回答がなかった。



事業所アンケートの調査内容は以下に示すとおりである。

## アンケート調査票

問1 はじめに貴事業所の業務形態等についてお伺いします。

(1) 貴事業所の所在地（主たる所在地について該当する番号1つを○で囲んでください）

1. 千葉地域（千葉市、市原市）
2. 葛南地域（市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市）
3. 東葛飾地域（松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市）
4. 北総地域（銚子市、成田市、佐倉市、旭市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、香取市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町）
5. 東上総地域（茂原市、東金市、勝浦市、山武市、いすみ市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町）
6. 南房総地域（館山市、木更津市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、南房総市、鋸南町）

(2) 貴事業所の業種（主たる業種について該当する番号1つを○で囲んでください）

1. 鉱業、採石業、砂利採取業
2. 建設業
3. 製造業
4. 情報通信業
5. 運輸業、郵便業
6. 卸売業、小売業
7. 金融業、保険業
8. 不動産業、物品賃貸業
9. 学術研究、専門・技術サービス業
10. 宿泊業、飲食サービス業
11. 生活関連サービス業、娯楽業
12. 教育、学習支援業
13. 医療、福祉
14. 複合サービス事業
15. サービス業（他に分類されない）
16. その他（ ）

(4) 貴事業所の従業員数（アルバイト、パート等を含む）（該当する番号1つを○で囲んでください）

- ① 9人以下
- ② 10～29人
- ③ 30～99人
- ④ 100～199人
- ⑤ 200～299人
- ⑥ 300～999人
- ⑦ 1,000人以上

(5) 貴事業所（建屋）の形態（該当する番号1つを○で囲んでください。①と②の両方に該当する場合は、床面積の多い方を選択してください）

- ① テナントとして入居している
- ② 自社所有である

裏面に続きます

問2 貴事業所のエネルギー使用量等についてお伺いします（数値をご記入ください）。

(1) 二酸化炭素排出量と密接な関係を持つ量を把握するため、平成25年度（2013年度）の貴事業所の出荷額や生産量等をお答えください（業種は、問1でお答えいただいた業種です。）。

業種	項目	平成25年度（2013年度） 出荷額等	単位
製造業	製品出荷額等		百万円
鉱業	生産量等		t
建設業（①が算出できない場合は②）	①建築面積		m <sup>2</sup>
	②売上高等		百万円
それ以外の業種	延べ床面積 （事業所全体）		m <sup>2</sup>
企業・グループ全体として		←他の事業所等も含む数字の場合は☑	

※平成25年度（H25.4～H26.3）における出荷額等の集計が難しい場合には、H25.4～H26.3の期間に最も近い会計年度等で記入してください。

(2) 貴事業所等の平成25年度（H25.4～H26.3）における1年間の消費電力や燃料使用量を①～⑧の項目別にお答えください。また、その他に使用している燃料があれば、⑨に主要なもの1つをご記入ください。なお、輸送事業以外の社用車等、自動車の燃料は除きます。  
輸送事業を行っている方は、貨物・旅客輸送のための燃料使用量もご記入ください。

項目		平成25年度使用量 （2013年度）	単位
エ ネ ル ギ ー 使 用 量	① 購入電力	東京電力	kWh
		それ以外	kWh
	② 都市ガス		m <sup>3</sup>
	③ 液化石油ガス （LPG・プロパンガス）		m <sup>3</sup>
	④ ガソリン		kl キロリットル
	⑤ 軽油（輸送事業自動車用）		kl キロリットル
	⑥ 灯油		kl キロリットル
	⑦ 軽油（自動車用除く）		kl キロリットル
	⑧ 重油		kl キロリットル
⑨ その他 （ ）		（ ）	

※ 正確な量が把握できない場合は概算でも構いません。

※ 「③液化石油ガス」について、単位「t」から「m<sup>3</sup>」に変換する場合には、500倍（0.5×1,000）してください。

※ 「化学工業」「石油製品・石炭製品製造業」等の製造業において、「液化石油ガス」「重油」などで製品そのものに固定されるものについては記入せず、燃料として消費される分を記入してください。

※平成25年度（H25.4～H26.3）におけるエネルギー使用量の集計が難しい場合には、H25.4～H26.3の期間に最も近い会計年度等で記入してください。

問3 貴事業所の車両保有状況についてお伺いします。

保有している自動車の種類ごとに、保有台数をご記入ください。また、「クリーンエネルギー自動車」の台数および「アイドリングストップ装置」の導入台数、「エコドライブ管理システム（別添資料参照）」の導入の有無についてもご記入ください。

自動車の種類	保有台数 計 (A)	(A)のうち、		エコドライブ管理システム※導入の有無	
		クリーンエネルギー自動車※の台数	アイドリングストップ装置導入台数	あり	なし
① 乗用車（軽自動車含む）	台	台	台	1	2
② 乗合車（バス）	台	台	台	1	2
③ 小型貨物車	台	台	台	1	2
④ 普通貨物車	台	台	台	1	2
⑤ 建設機械（重機）等	台	台	台	—	—

※クリーンエネルギー自動車：ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車、クリーンディーゼル車、天然ガス車、メタノール車、水素自動車

問4 貴事業所における運輸に関する省エネの取組状況についてお伺いします。該当する番号（「実施する予定がない」場合は、その理由の記号）を1つ選び○で囲んでください。「エコドライブ運転※」「VICS※」は、参考資料をご参照ください。

問1で【運輸業、郵便業】を選択された場合はA～Eの全ての項目についてお答えください。その他の事業者の方は項目A及びBをお答えください。

項目		実施している	実施予定又は検討中	実施する予定がない (その理由を御回答ください)	不明
全業種	A. エコドライブ運転※に努める（空ぶかしや急発進をしない等）	1	2	a 費用がかかる b 面倒・手間がかかる c 効果が不明・効果が小さい d その他（ ）	4
	B. VICS等※を利用した、交通事情に沿った運行をしている	1	2	a 費用がかかる b 面倒・手間がかかる c 効果が不明・効果が小さい d その他（ ）	4
運輸業、郵便業のみ	C. 積載効率を向上させるための工夫やシステムを導入・利用している	1	2	a 費用がかかる b 面倒・手間がかかる c 効果が不明・効果が小さい d その他（ ）	4
	D. 共同輸配送など効率的な輸配送システムを導入・利用している	1	2	a 費用がかかる b 面倒・手間がかかる c 効果が不明・効果が小さい d その他（ ）	4
	E. 多頻度・少量配送の低減を進めている	1	2	a 費用がかかる b 面倒・手間がかかる c 効果が不明・効果が小さい d その他（ ）	4

裏面に続きます



問5 貴事業所における省エネ設備や機器の導入などについてお伺いします。

省エネ設備等の導入に関する各項目について、該当する番号（導入予定なしの場合はその理由の記号）を○で囲んでください。「導入」とは、新規購入、買換え、リースを含みます。

項目	導入済	導入予定 又は検討 中	導入予定なし (その理由を御回答ください)	不明
A. 省エネ型のアコンを導入している 省エネラベルのある製品※又は 業務用の高効率な空調設備	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 更新予定がない e その他 ( )	4
B. 省エネ型のコピー機・パソコンを導入している 省エネラベルのある製品※	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 更新予定がない e その他 ( )	4
C. 高効率照明（LED照明等）を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 更新予定がない e その他 ( )	4
D. 建築物の新築・増改築時に断熱性能を向上させた構造を採用している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 更新予定がない e その他 ( )	4
E. 高効率な給湯器を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 対象設備が業務に不要 e その他 ( )	4
F. 省エネ型の業務用冷蔵・冷凍庫を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 対象設備が業務に不要 e その他 ( )	4
G. 熱回収ヒートポンプを導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 対象設備が業務に不要 e その他 ( )	4
H. 通風機、空調機、空気圧縮機へのインバータ制御を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 対象設備が業務に不要 e その他 ( )	4
I. コージェネ設備を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 対象設備が業務に不要 e その他 ( )	4
J. エネルギー管理システム（BEMS）を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 導入方法が分からない e その他 ( )	4
K. 太陽光発電設備を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 導入方法が分からない e その他 ( )	4
			1の場合、年間発電量、または発電出力をご記載ください。 年間発電量 _____ kWh/年・ 発電出力 _____ kW	

L. 太陽熱利用システムを導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 導入方法が分からない e その他 ( )	4
	1の場合、集熱面積をご記載ください。 集熱面積 _____ m <sup>2</sup>			
M. その他再生可能エネルギー設備を導入している	風力・水力発電や温度差利用など、その他の設備を導入している（予定含む）場合、その種類と発電量をご記載ください。 発電の種類 _____ 発電 _____ 年間発電量 _____ kWh/			

問6 貴事業所における省エネに関する行動の取組状況についてお伺いします。

省エネ行動に関する各項目ごとに、該当する番号（導入予定なしの場合はその理由の記号）を○で囲んでください。

項目		実施している	実施予定又は検討中	実施の予定なし (その理由を御回答ください)	不明
マネジメント	A. エネルギー消費量や原単位の目標値を設定している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
	B. エネルギー消費データを記録し、活用している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
	C. 温室効果ガスの排出抑制のための計画を策定している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
	D. 環境保全に関する計画やガイドラインを設けている	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
	E. 従業員を対象に、省エネや環境保全の研修を実施している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
	F. 環境マネジメントシステムを導入している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上困難である d その他 ( )	4
上記で1を選択した場合、導入している環境マネジメントシステムの種類をご記載ください ① ISO14001 ② エコアクション21 ③ KES ④ その他 _____					
運用	A. 適温冷暖房を実施している（目安：暖房は20℃、冷房は28℃）	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
	B. 照明設備の運用管理（灯数、点灯時間、照度等）を行う	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
	C. 不要時にはOA機器の主電源オフなどを行う	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4

運用	D. 紙の使用量削減や再資源化に取り組んでいる	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
	E. 自社販売品等のリユース・リサイクルに取り組んでいる	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
	F. 食品廃棄物を肥料などに有効利用している	1	2	a 人員・時間が確保できない b 効果が不明・効果が小さい c 廃棄物がない・少ない d その他 ( )	4
その他	A. ESCO事業*や省エネ診断、運用の最適化を実施している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 導入方法が分からない d その他 ( )	4
	B. オフセットクレジット等を利用している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 導入方法が分からない d その他 ( )	4
	C. グリーン電力証書等を活用している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 導入方法が分からない d その他 ( )	4
	D. 環境に配慮した事務用機器や備品の積極的な購入を推進している(グリーン購入)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 導入方法が分からない d その他 ( )	4
	E. 建物の屋上や壁面、敷地内の緑化を行っている	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 導入方法が分からない d その他 ( )	4

問7 アンケート項目以外で貴事業所が力を入れている地球温暖化対策の取組事例や今後の取組方針等があればご記入ください。

問8 地球温暖化対策に関して県への提案やご意見がございましたらご記入ください。

**製造業、建設業、鉱業・採石、砂利採取業の方は別紙の質問項目にもお答えください。  
その他の業種の方はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。**

別紙

製造業

問 製造業の方のみにお伺いします。以下の項目について、該当する番号（導入・実施予定なしの場合はその理由の記号）を○で囲んでください。なお、該当する事業がない場合や設備がそもそも不要な場合は「該当なし」4としてください。

項目	導入・実施済	導入・実施予定又は検討中	導入・実施予定なし (その理由を御回答ください)	不明又は該当なし
A. 高効率ボイラーを導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 更新予定がない e その他 ( )	4
B. 製造に利用する燃料を温室効果ガスの排出が少ないものに転換している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 導入方法が分からない e その他 ( )	4
C. 製造に使用する燃料にクリーンエネルギーを利用している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d 導入方法が分からない e その他 ( )	4
D. 工場・設備や製造設備を集約化している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
E. 空調などの熱源としてのヒートポンプ・氷蓄熱設備を導入している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・立地上困難である d その他 ( )	4
F. 冷凍機の冷凍効率の改善により電力使用量を削減している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 設備上・事業上困難である d その他 ( )	4
G. リユース・リサイクルが容易な製品を開発している	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明 c 設備上・事業上困難である d その他 ( )	4
H. ノンフロン型機器の開発	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明 c 設備上・事業上困難である d その他 ( )	4
I. 温室効果ガスを含まない冷媒を用いた冷凍・冷却設備の使用	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明 c 設備上・事業上困難である d その他 ( )	4

プラスチック発泡製品製造業、半導体・電子部品・電子回路等製造業の方は、別紙の代替フロン類等の項目にもお答えください。

その他の業種の方はこれで終了です。ご協力ありがとうございました

別紙

**建設業、鉱業・採石・砂利採取業**

問 建設業、鉱業・採石・砂利採取業の方のみにお伺いします。以下の項目について、該当する番号（導入予定なしの場合はその理由の記号）を○で囲んでください。なお、該当する事業がない場合や設備がそもそも不要な場合は「該当なし」4としてください。

建設業は全項目を、鉱業、採石、砂利採取業はE及びFのみお答えください。

項目	実施している	実施予定 又は 検討中	実施予定なし (その理由を御回答ください)	不明又は 該当なし
A. トップランナー基準※に対応した建築材料の利用を促進している (建設業)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 取引先や施主から求められない d その他( )	4
B. 照明や空調、外壁など、最新の省エネ技術の導入を進めている (建設業)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 取引先や施主から求められない d その他( )	4
C. 混合セメントの利用を進めている (建設業)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 取引先や施主から求められない d その他( )	4
D. エコセメント（ゴミ焼却灰を主原料として製造されるセメント）の利用を進めている (建設業)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 取引先や施主から求められない d その他( )	4
E. 建設・掘削現場において高効率な仮設電気機器を導入している (全業種)	1	2	a 費用がかかる b 効果が不明・効果が小さい c 更新予定がない d その他( )	4
F. 建設機械、掘削機械、車両のアイドルングストップや低燃費運転を励行している (全業種)	1	2	a 人員・時間がかかる b 効果が不明・効果が小さい c その他( )	4

ご協力ありがとうございました